



涌小通信

知内町立涌元小学校
～重点教育目標～
主体的・協働的に学び、
認め・磨き・高め合う子
平成29年5月29日発行

小さな学校の大きな教育 ～運動会を通して～

校長 三上 幸喜

今年度の運動会の開催が日曜日に迫って参りました。全校児童が27人の涌元小学校の運動会でも、入場行進・開会式から始まり、徒競走・運命走・団体競技・表現活動が行われます。改めて、児童一人ひとりの役割や存在の大きさを感じる運動会となっています。

運動会ですので当然のように1位もあれば、2位も3位もあります。「勝った」喜びもあれば「負けた」悔しさもあり、真剣勝負の場ともなっています。

勝敗を決める種目だけではなく、涌元小学校伝統の「鼓笛パレード」や表現活動「全校ソーラン節」、縦割班競技「コロコロボール」も行われます。そして、13人の児童会の児童が担当する係活動があります。ポスター係、児童係、ラジオ体操係、放送係にも取り組み、運動会を縁の下の力持ちとなって支えています。

運動会を成功させるために、4月に入学した1年生も、最後の運動会となる6年生も、ともに声をかけ合いながら、汗を流しながら一生懸命取り組んでおります。

閉会式では、勝っても負けても、みんなが笑顔でお互いの健闘をたたえ合えるそんな運動会にしていきたいと考えています。家庭・地域の皆様の子どもたちへの大きな声援と励ましをよろしくお願いいたします。

毎年開催されている運動会ですが、目標やねらいをご存知でしょうか。学校では、国語や算数の教科指導はもちろんですが、運動会等の行事を含めた全ての教育活動を通して、教育目標ならびに重点教育目標の達成に取り組んでおりますので、以下にご紹介します。

【今年度の重点教育目標】

◎主体的・協働的に学び、認め・磨き・高め合う子

【目指す子ども像】

主体的・協働的に学び、認め・磨き・高め合う子

- 自ら学び、基礎的・基本的な知識や技能を身につける子
- 積極的によりよい友だち関係を築く子
- 自ら心身を鍛え、自分の健康を築く子
- 豊かな心情をもち、生命を尊重するとともに、自己肯定感の高い子

主体的とは、自分の目標・めあて・願いをもち、見通しをもちながら粘り強く取り組むこと。

協働的とは、仲間とともに目的を達成するために、力を合わせてともに活動すること。

認め・磨き・高め合う子は、友だちの良さを見つけ、認めながら、自分をさらに高めていくこと。

今年度の運動会の【活動のねらい】は、

- ・ 日常の学習の成果を十分に発揮させながら、児童の体力の増進・向上を図る。
- ・ 計画・運営・活動を通して、自主性・創造性及び集団の一員としての意識を培う。
- ・ 集団行動を通して、規律・協力・健康安全保持について理解を深める。

運動会という教育活動を通して、教育目標や重点教育目標の達成に全職員で努めて参ります。「全ては子どもの笑顔のために」を合い言葉に職員一同取り組みます。

お原真い、

運動会当日の朝の準備の開始時刻は午前7時からとなります。担当者の指示のもとで作業を開始したいと考えておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。